様式第２号（第３条関係）　周知の埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等届出（通知）書

|  |
| --- |
| 周知の埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等届出（通知）書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日　愛媛県教育委員会　様　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　　　　　　　　　　　　届出（通知）者　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 工事予定地 | 所在及び地番 |  |
| 面積 |  |
| 土地所有者 | 住所 |  |
| 氏名 |  |
| 遺　　　　　　　　跡 | 種類 | 散布地　集落跡　貝塚　官跡　城館跡　社寺跡　古墳　墳墓　経塚　生産遺跡その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 名称 |  | 員数 |  |
| 現状 | 宅地　水田　畑地　山林　道路　雑種地　その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| 時代 | 旧石器　縄文　弥生　古墳　古代　中世　その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| 工事の目的 | 　道路　鉄道　空港　河川　ダム　学校　住宅　工場　その他建物（　　　　　）　宅地造成　土地区画整理　公園造成　ガス　電気　水道　農業関連　土砂採取　観光開発　遺跡整備　その他開発（　　　　　　　　　　） |
| 工事の計画及び方法 |  |
| 工事主体者 | 住所 |  |
| 氏名 |  |
| 施工責任者 | 住所 |  |
| 氏名 |  |
| 着手予定時期 | 指示有り次第 | 終了予定時期 | 令和　　年　　月　　日 |
| その他参考事項 |  |

　注１　届出者が個人の場合にあっては、記名押印に代えて署名することができる。

　　２　土地所有者及び工事主体者の欄には、国の機関等又は法人その他の団体にあっては、所在地並びに名称及び代表者の氏名を記入すること。

　　３　遺跡の種類、現状、時代及び工事の目的の欄には、該当する項目を○で囲み、（　　）内には該当事項を具体的に記入すること｡

　　４　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。

　　５　次に掲げる書類及び図面を添付すること。

　　（１）　土木工事等をしようとする土地及びその付近の地図

　　（２）　当該土木工事等の概要を示す書類及び図面

施工箇所